

業績リスト（2022年1月－12月）

## 理学療法学科

### 【著書】

岩井信彦, 第3章-1 理学療法評価学における基礎科学の融合と臨床推論：基礎科学を融合した理学療法推論の実践（奈良勲 監修）, 運動と医学の出版社, 神奈川, 2022/04/25, 286-299.

大久保吏司, 第5章各種トレーニングの実践, 1. ウォーキング：高齢者に対する予防的運動介入 実践指導に必要な基礎と技術（松尾善美 監修、柳澤幸夫 編集）, 文光堂, 2022/04, 102-112.

下和弘, 脳機能画像からのアプローチ：腰痛・腰下肢痛 診療のキーポイント（森本昌宏、橋爪圭司、山口忍 編）, 克誠堂出版, 東京, 2022, 72-79.

松原貴子, 理学療法：腰痛・腰下肢痛 診療のキーポイント（森本昌宏、橋爪圭司、山口忍編）, 克誠堂出版, 東京, 2022, 352-357.

松原貴子, 運動療法：腰痛・腰下肢痛 診療のキーポイント（森本昌宏、橋爪圭司、山口忍編）, 克誠堂出版, 東京, 2022, 358-363.

松原貴子, ペインリハビリテーションの実践：痛み診療 All in One（山本達郎、他編）, 文光堂, 東京, 2022, 219-227.

松原貴子, 他（日本ペインクリニック学会疼痛治療における禁煙を考えるワーキンググループ）編著：疼痛を有する患者の禁煙に関するステートメント, 一般社団法人日本ペインクリニック学会, 東京, 2022.

松原貴子, 他（新型コロナウイルス感染症 COVID-19 診療の手引き・罹患後症状のマネジメント編集委員会）編著：新型コロナウイルス感染症 COVID-19 診療の手引き 別冊 罹患後症状のマネジメント 第2.0版, 厚生労働省, 2022.

村尾浩, 骨・関節 CT・MRI の基本と画像解剖・評価：PT・OT のための画像評価テキスト（三浦靖史編）, 文光堂, 東京, 2022, 47-67.

### 【論文】

Hattori T, Shimo K, Niwa Y, Katsura Y, Tokiwa Y, Ohga S, Matsubara T. Pain Sensitization and Neuropathic Pain-like Symptoms Associated with Effectiveness of Exercise Therapy in Patients with Hip and Knee Osteoarthritis. Pain Res Manag. 2022; 2022: 4323045. doi: 10.1155/2022/4323045. PMID: 36071945; PMCID:

PMC9444422.

Hattori T, Ohga S, Shimo K, Niwa Y, Tokiwa Y, Matsubara T. Predictive Value of Pain Sensitization Associated with Response to Exercise Therapy in Patients with Knee Osteoarthritis: A Prospective Cohort Study. *J Pain Res.* 2022; 15: 3537-3546. doi: 10.2147/JPR.S385910. PMID: 36394057; PMCID: PMC9653041.

Iida H, Yamaguchi S, Goyagi T, Sugiyama Y, Taniguchi C, Matsubara T, Yamada N, Yonekura H, Iida M. Consensus statement on smoking cessation in patients with pain. *J Anesth.* 2022; 36(6): 671-687. doi: 10.1007/s00540-022-03097-w. PMID: 36069935; PMCID: PMC9666296.

Jinnouchi H, Kitamura A, Matsudaira K, Kakihana H, Oka H, Yamagishi K, Kiyama M, Iso H. Brief Self-Exercise Education for Adults With Chronic Knee Pain: A Randomized Controlled Trial. *Modern Rheumatology.* 2022 Feb 3; roac009.

Katsura Y, Ohga S, Shimo K, Hattori T, Yamada T, Matsubara T. Post-Stroke Complex Regional Pain Syndrome and Upper Limb Inactivity in Hemiplegic Patients: A Cross-Sectional Study. *J Pain Res.* 2022; 15: 3255-3262. doi: 10.2147/JPR.S379840. PMID: 36281309; PMCID: PMC9587704.

Koeda H, Kakihana H, Koeda M, Koeda M. Disaster Prevention Consciousness Research and Disaster Support for Disabled Persons. *J. Asi. Reha. Sci.* 2022; 5(2): 20-28.

Morimoto Y, Watanabe T, Oikawa M, Hanada M, Sekino M, Hara T, Kozu R. Predictors of sedation period for critical illness patients focusing on early rehabilitation on the bed. *Scientific Reports* 2022; 12: 1-9.

Niwa Y, Shimo K, Ohga S, Tokiwa Y, Hattori T, Matsubara T. Effects of Exercise-Induced Hypoalgesia at Different Aerobic Exercise Intensities in Healthy Young Adults. *J Pain Res.* 2022; 15: 3615-3624. doi: 10.2147/JPR.S384306. PMID: 36419538; PMCID: PMC9677918.

Sasaki R, Honda Y, Oga S, Fukushima T, Tanaka N, Kajiwarra Y, Nakagawa K, Takahashi A, Sakamoto Y, Morita H, Kondo Y, Okita S, Kondo Y, Goto K, Kataoka H, Sakamoto J, Okita M. Effect of exercise and/or educational interventions on physical activity and pain in patients with hip/knee osteoarthritis: A systematic review with meta-analysis. *PLoS One.* 2022; 17(11): e0275591. doi: 10.1371/journal.pone.0275591. PMID: 36409668; PMCID: PMC9678259.

Shimo K, Ogawa S, Niwa Y, Tokiwa Y, Dokita A, Kato S, Hattori T, Matsubara T. Inhibition of current perception thresholds in A-delta and C fibers through somatosensory stimulation of the body surface. *Sci Rep.* 2022; 12(1): 13705. doi: 10.1038/s41598-022-18016-y. PMID: 35962024; PMCID: PMC9374682.

Takenaka T, Murao H. Change in Grades of Pre-Graduation Students due to Spread of COVID-19 -Report from One Private University Physical Therapy Department-. J Asi Reha Sci. 2022; 5(2): 11-19.

Tsuda K, Hayashi E, Kamiya K, Kudo A, Kakihana H, Nakayama S, Ito Y, Saito M, Nukui Y, Hoshiga M, Tamaki J. Effects of interval-walking training on blood pressure in community-dwelling Japanese older adults. J Sports Med Phys Fitness. 2022 Oct 14.

岩井信彦、小嶋功、森本陽介、南哲、大久保吏司、小形晶子、下和弘. 計量テキスト分析を用いた臨床実習ポートフォリオ評価の客観的分析. 理学療法科学. 2022 ; 37(1) : 15-21.

大久保吏司、岩井信彦. 本学部理学療法学科における健康運動実践指導者養成カリキュラムの必要性 -在校生・卒業生へのアンケート結果から-. 総合リハビリテーション研究. 2022 ; 17(2) : 25-34.

熊野穂積、村尾浩. 距骨骨折後の距骨壊死の発生は治療成績不良とは関連しない. 臨床整形外科. 2022 ; 57 巻 : 67-70.

竹中有、村尾浩. 本学理学療法学科学生における成績と進路および国家試験点数との関連-専門必修科目から算出した GPA-RS の有用性と限界-. 総合リハビリテーション研究. 2022 ; 36(2) : 3-11.

備酒伸彦. 「自己決定について考える」. 福祉介護テクノプラス. 日本工業出版. 2022 ; 175 : 1-4.

松原貴子、大賀智史、服部貴文、丹羽祐斗. 慢性疼痛と運動療法. J Clin Rehabil. 2022 ; 31(12) : 1202-1206.

## 【学会発表】

池村明里、服部貴文、松原貴子. 股・膝関節の疼痛症状の病態は異なるのか？－人工関節置換術後の術後経過に基づく検討－. 日本ペインクリニック学会誌 29(6): 133-134. 2022. 日本ペインクリニック学会第2回東海・北陸支部学術集会（Web開催、2022/02/26）

池村明里、服部貴文、大賀智史、下和弘、松原貴子. 人工股関節全置換術と人工膝関節全置換術の術後疼痛症状経過の違いに関する検討. PAIN REHABILITATION 12(2): 113. 2022. 第26回日本ペインリハビリテーション学会学術大会（神戸市、2022/06/11）

池村明里、服部貴文、大賀智史、下和弘、松原貴子. 術前の荷重時痛・非荷重時痛の膝痛が人工膝関節全置換術の術後経過に及ぼす影響. Pain Research 37(4): 283. 2022. 第44回日本疼痛学会（岐阜、2022/12/03）

大賀智史、下和弘、松原貴子. がん患者に対する運動療法が痛みにおよぼす効果－メタアナリシスによる検討

ー. 第 51 回日本慢性疼痛学会プログラム・抄録集: 146. 2022. 第 51 回日本慢性疼痛学会 (Web 開催、2022/02)

大賀智史、下和弘、松原貴子. がんサバイバーに対する運動が疼痛におよぼす影響－メタアナリシスによる検討－. PAIN REHABILITATION 12(2): 153. 2022. 第 26 回日本ペインリハビリテーション学会学術大会 (神戸市、2022/06/12)

大賀智史、下和弘、松原貴子. がんサバイバーの疼痛に対する各種運動介入の効果－メタアナリシスによる検討－. 日本ペインクリニック学会誌 29(program): 94. 2022. 日本ペインクリニック学会第 56 回学術集会 (東京、2022/07)

大賀智史、松原貴子. 喫煙者の疼痛に対する運動と行動変容アプローチの効果：文献レビュー 日本ペインクリニック学会誌 29(program): 119. 2022. 日本ペインクリニック学会第 56 回学術集会 (東京、2022/07)

大賀智史、下和弘、松原貴子. がんサバイバーの疼痛に対する運動の効果－定量的感覚検査をアウトカムとしたメタアナリシスによる検討－. Journal of Musculoskeletal Pain Research 14(4): S58. 2022. 第 15 回日本運動器疼痛学会 (栃木、2021/11/19)

大賀智史、下和弘、松原貴子. がんサバイバーの疼痛に対する運動の効果－メタアナリシスを用いた自覚的疼痛強度と定量的感覚検査に関する検討－. Pain Research 37(4): 278. 2022. 第 44 回日本疼痛学会 (岐阜、2022/12/03)

大久保吏司. 3次元動作解析装置を用いた動作解析による動作の定量的評価. 第 61 回近畿理学療法学術大会 (兵庫県、WEB 開催、2022/01/16)

桂祐一、大賀智史、服部貴文、山田良、下和弘、松原貴子. 脳卒中後 CRPS の発症因子－決定木分析を用いた検討－. 日本ペインクリニック学会誌 29(6): 136. 2022. 日本ペインクリニック学会第 2 回東海・北陸支部学術集会 (Web 開催、2022/02/26)

桂祐一、大賀智史、服部貴文、山田良、下和弘、松原貴子. 脳卒中後 CRPS の発症予測モデルの検討. PAIN REHABILITATION 12(2): 144. 2022. 第 26 回日本ペインリハビリテーション学会学術大会 (神戸市、2022/06/12)

桂祐一、山田良、服部貴文、大賀智史、下和弘、松原貴子. 脳卒中後に生じる肩手症候群と上下肢運動麻痺および疼痛調節機能との関連性－予備的横断研究による検討－. ポスター46 P-327. 第 20 回日本神経理学療法学会学術大会 (大阪、2022/10/16)

桂祐一、大賀智史、下和弘、松原貴子. 脳卒中患者の運動誘発性鎮痛に関する予備的検証. Pain Research 37(4): 260. 2022. 第 44 回日本疼痛学会 (岐阜、2022/12/03)

加藤翔、服部貴文、宮田梨沙、小河翔、大賀智史、下和弘、松原貴子. 医療・介護施設就労者の腰痛とプレゼンティーズムの関係性. PAIN REHABILITATION 12(2): 141. 2022. 第26回日本ペインリハビリテーション学会学術大会（神戸市、2022/06/12）

加藤翔、服部貴文、大賀智史、下和弘、松原貴子. 異なる条件刺激種による conditioned pain modulation の効果検証. PAIN REHABILITATION 12(2): 152. 2022. 第26回日本ペインリハビリテーション学会学術大会（神戸市、2022/06/12）

加藤翔、服部貴文、丹羽祐斗、堂北絢郁、大賀智史、下和弘、松原貴子. 疼痛感作の指標である疼痛閾値と時間的加重の関係性. 日本ペインクリニック学会誌 29(program): 233. 2022. 日本ペインクリニック学会第56回学術集会（東京、2022/07）

北村明彦、陣内裕成、柿花宏信、安岡実佳子、村木功、羽山実奈、高田碧、清水悠路、本田瑛子、山岸良匡、今野弘規、岡田武夫、木山昌彦、磯博康. 高齢期のフレイル該当者の壮年期における健診所見の特徴. 第81回日本公衆衛生学会総会（山梨）

坂野裕洋、村田淳、富澤孝太、服部貴文、松原貴子. 脊椎圧迫骨折後の急性腰痛に対する TENS の介入効果に関する検討. Journal of Musculoskeletal Pain Research 14(4): S53. 2022. 第15回日本運動器疼痛学会（栃木、2021/11/19）

坂野裕洋、松原貴子：低出力レーザー療法が末梢神経の伝導速度と痛覚感受性に与える影響. Pain Research 37(4): 262. 2022. 第44回日本疼痛学会（岐阜、2022/12/03）

阪本佳奈恵、松尾知洋、山本梨央、森本陽介、佐々木真希、劔物英子、上野勝弘、小澤修一. 自宅復帰を目標とした重症心不全患者に対する回復期リハビリテーションの経験. 第28回日本心臓リハビリテーション学会学術集会. 沖縄コンベンションセンター（沖縄県、2022/06/11-12）

島原範芳、松原貴子、中野正規、内山裕貴、上甲雄太郎、上田有輝、清家瑠真、佐藤信治、赤松和紀、祖川稔史、田中由紀、澤田直哉、奥田恭章、大西誠. 関節リウマチ患者の自己効力感に関する研究-患者の生活全般に対する自己効力感と生活の質の関連に影響を与える因子の検討-. PAIN REHABILITATION 12(2): 159. 2022. 第26回日本ペインリハビリテーション学会学術大会（神戸市、2022/06/12）

島原範芳、犬飼優、仲島舞、中野正規、内山裕貴、上甲雄太郎、佐藤信治、赤松和紀、菱川法和、平和晃、澤田直哉、奥田恭章、大西誠、遠山将吾、松原貴子：関節リウマチ患者のライフステージに応じた活動促進プログラム開発の試み～残存する痛みと恐怖回避思考による活動性低下に対するリハビリテーション～. Pain Research 37(4): 279. 2022. 第44回日本疼痛学会（岐阜、2022/12/03）

下和弘、大賀智史、松原貴子. 経皮的電気刺激によるノイズ刺激は侵害受容閾値を変化させるか. 日本ペイン

クリニック学会誌 29(6): 139. 2022. 日本ペインクリニック学会第2回東海・北陸支部学術集会 (Web 開催、2022/02/26)

下和弘、大賀智史、松原貴子. 経皮的電気刺激によるホワイトノイズは侵害受容閾値を変化させるか. 第51回日本慢性疼痛学会プログラム・抄録集: 95. 2022. 第51回日本慢性疼痛学会 (Web 開催、2022/02)

下和弘、大賀智史、松原貴子. 行動観察による疼痛評価は実験的侵害刺激の強度を反映するか. PAIN REHABILITATION 12(2): 120. 2022. 第26回日本ペインリハビリテーション学会学術大会 (神戸市、2022/06/11)

下和弘、大賀智史、松原貴子. 行動観察による侵害受容性疼痛の評価は侵害刺激の強度を反映するか? - 健康者での検討 -. Journal of Musculoskeletal Pain Research 14(4): S39. 2022. 第15回日本運動器疼痛学会 (栃木、2021/11/20) 【優秀演題賞】

上銘峻太、常盤雄地、高本友希、越智貴則、高瀬泉、戸田光紀、服部貴文、大賀智史、下和弘、松原貴子. 大腿切断後に生じた幻肢痛と疼痛感作の経時的変化 - ケースレポートによる検討 -. PAIN REHABILITATION 12(2): 145. 2022. 第26回日本ペインリハビリテーション学会学術大会 (神戸市、2022/06/12)

陣内裕成、北村明彦、松平浩、柿花宏信、羽山実奈、村木功、山岸良匡、今野弘規、岡田武夫、木山昌彦、磯博康. 慢性腰痛とひざ痛の地域予防対策で有用な動態指標 4年間の縦断研究. 第32回日本疫学会学術総会 (東京)

宅間佳奈、熊野穂積、村尾浩. 当院回復期リハビリテーション病棟での重症の患者比率向上の取り組み. 第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会 (岡山市、2022/11/04-2022/11/06)

竹市真、柳原尚、松本優、藤井敦、服部貴文、丹羽祐斗、下和弘、大賀智史、松原貴子. 医療不信や症状再発への不安が強い症例に対する身体所見の評価に基づく患者教育・運動療法の試み. 第51回日本慢性疼痛学会プログラム・抄録集: 113. 2022. 第51回日本慢性疼痛学会 (Web 開催、2022/02)

竹市真、柳原尚、藤井敦、南端翔多、下和弘、大賀智史、服部貴文、丹羽祐斗、松原貴子. ペインクリニックにおける理学療法評価に基づく運動療法が奏功した慢性頸部痛症例. PAIN REHABILITATION 12(2): 155. 2022. 第26回日本ペインリハビリテーション学会学術大会 (神戸市、2022/06/11)

堂北絢郁、丹羽祐斗、常盤雄地、大賀智史、下和弘、松原貴子. HIIT運動による鎮痛並びに気分・認知機能改善に及ぼす影響. 日本ペインクリニック学会誌 29(6): 138. 2022. 日本ペインクリニック学会第2回東海・北陸支部学術集会 (Web 開催、2022/02/26)

堂北絢郁、丹羽祐斗、常盤雄地、大賀智史、下和弘、松原貴子. 高強度インターバルトレーニングにおける気分変化と鎮痛効果の関係性. PAIN REHABILITATION 12(2): 147. 2022. 第26回日本ペインリハビリテーション学会学術大会（神戸市、2022/06/12）

堂北絢郁、丹羽祐斗、服部貴文、大賀智史、下和弘、松原貴子. 体組成の性差は中枢性疼痛調節機能に影響を及ぼすか？－若年健常者の体脂肪に関する予備的研究－. Journal of Musculoskeletal Pain Research 14(4): S63. 2022. 第15回日本運動器疼痛学会（栃木、2021/11/19）

堂北絢郁、丹羽祐斗、服部貴文、大賀智史、下和弘、松原貴子. 体組成の性差と疼痛調節機能との関係－若年健常者での予備的研究－. Pain Research 37(4): 275. 2022. 第44回日本疼痛学会（岐阜、2022/12/03）

常盤雄地、丹羽祐斗、堂北絢郁、大賀智史、下和弘、松原貴子. 疼痛症状と疼痛感作を改善する運動アドヒアランスの検討. PAIN REHABILITATION 12(2): 163. 2022. 第26回日本ペインリハビリテーション学会学術大会（神戸市、2022/06/12）

中田健太、山口修平、服部貴文、池村明里、桂祐一、中藺良太、丹羽祐斗、大賀智史、下和弘、松原貴子. 認知症高齢者に対する短縮版疼痛行動観察評価の検証. PAIN REHABILITATION 12(2): 138. 2022. 第26回日本ペインリハビリテーション学会学術大会（神戸市、2022/06/12）

中田健太、大賀智史、下和弘、松原貴子. 疼痛行動観察による認知症高齢者への運動療法の効果判定. Pain Research 37(4): 274. 2022. 第44回日本疼痛学会（岐阜、2022/12/03）

中野正規、島原範芳、松原貴子、内山裕貴、上甲雄太郎、上田有輝、西岡直哉、岡本沙央理、清家瑠真、佐藤信治、赤松和紀、田中由紀、澤田直哉、奥田恭章、大西誠. 地域在住関節リウマチ患者のロコモティブシンドロームに関する研究-新臨床判断値による解析-. PAIN REHABILITATION 12(2): 159. 2022. 第26回日本ペインリハビリテーション学会学術大会（神戸市、2022/06/12）

成瀬宏司、磯村隆倫、小林豊、大賀智史、松原貴子. 患者が訴える疼痛と質問紙評価の結果に差異を認めた上行結腸癌手術症例に対するリハビリテーションの経験. 日本ペインクリニック学会誌 29(6): 131-132. 2022. 日本ペインクリニック学会第2回東海・北陸支部学術集会（Web開催、2022/02/26）

成瀬宏司、川畑健太、伊藤起子、磯村隆倫、小林豊、大賀智史、松原貴子. 術前から強いがん性疼痛を有する盲腸癌患者に対する周術期リハビリテーションの経験. PAIN REHABILITATION 12(2): 153. 2022. 第26回日本ペインリハビリテーション学会学術大会（神戸市、2022/06/12）

成瀬宏司、磯村隆倫、小林豊、大賀智史、松原貴子. 当院におけるがん性疼痛の実態調査－後方視研究. Pain Research 37(4): 271. 2022. 第44回日本疼痛学会（岐阜、2022/12/03）

丹羽祐斗、服部貴文、堂北絢郁、常盤雄地、大賀智史、下和弘、松原貴子。運動誘発性鎮痛の反応性とその予測因子の検討。日本ペインクリニック学会誌 29(6): 138-139. 2022. 日本ペインクリニック学会第2回東海・北陸支部学術集会 (Web 開催、2022/02/26)

丹羽祐斗、堂北絢郁、服部貴文、大賀智史、下和弘、松原貴子。他動運動による運動誘発性鎮痛。第51回日本慢性疼痛学会プログラム・抄録集: 112. 2022. 第51回日本慢性疼痛学会 (Web 開催、2022/02)

丹羽祐斗、堂北絢郁、服部貴文、大賀智史、下和弘、松原貴子。バーチャルリアリティーを併用した運動イメージの鎮痛効果の検証。PAIN REHABILITATION 12(2): 146. 2022. 第26回日本ペインリハビリテーション学会学術大会 (神戸市、2022/06/12)

丹羽祐斗、堂北絢郁、服部貴文、大賀智史、下和弘、松原貴子。他動運動による EIH 効果の検証。PAIN REHABILITATION 12(2): 146. 2022. 第26回日本ペインリハビリテーション学会学術大会 (神戸市、2022/06/12)

丹羽祐斗、堂北絢郁、服部貴文、大賀智史、下和弘、松原貴子。VR 併用による運動イメージ療法の鎮痛効果の検討。日本ペインクリニック学会誌 29(program): 6. 2022. 日本ペインクリニック学会第56回学術集会 (東京、2022/07/08)

丹羽祐斗、堂北絢郁、服部貴文、大賀智史、下和弘、松原貴子。他動運動による運動誘発性鎮痛効果の検証。Journal of Musculoskeletal Pain Research 14(4): S57. 2022. 第15回日本運動器疼痛学会 (栃木、2021/11/19)

丹羽祐斗、堂北絢郁、服部貴文、大賀智史、下和弘、松原貴子。VR 運動イメージによる痛覚感受性と気分の改善効果。Pain Research 37(4): 250. 2022. 第44回日本疼痛学会 (岐阜、2022/12/02)

服部貴文、松原貴子、城由起子、尾張慶子、田中千晶、牛田享宏。慢性疼痛患者における中枢性疼痛調節機能のサブタイプ分類と疼痛症状との関係。日本ペインクリニック学会誌 29(6): 132. 2022. 日本ペインクリニック学会第2回東海・北陸支部学術集会 (Web 開催、2022/02/26)

服部貴文、丹羽祐斗、下和弘、大賀智史、松原貴子。術後遷延痛症例に対する運動療法の試みー定量的感覚検査による病態解析に基づく検討ー。第51回日本慢性疼痛学会プログラム・抄録集: 160. 2022. 第51回日本慢性疼痛学会 (Web 開催、2022/02)

服部貴文、大賀智史、下和弘、丹羽祐斗、常盤雄地、山口修平、松原貴子。変形性膝関節症における運動誘発性疼痛に関与する要因の検討。PAIN REHABILITATION 12(2): 112. 2022. 第26回日本ペインリハビリテーション学会学術大会 (神戸市、2022/06/11) 【最優秀演題賞】

服部貴文、丹羽祐斗、大賀智史、下和弘、桂祐一、山口修平、松原貴子。肩関節周囲炎における疼痛感作の特

性および疼痛症状との関係. PAIN REHABILITATION 12(2): 143. 2022. 第 26 回日本ペインリハビリテーション学会学術大会（神戸市、2022/06/12）

服部貴文、大賀智史、丹羽祐斗、下和弘、松原貴子. 肩関節周囲炎の保存療法に対する治療反応性と疼痛感作の関係. 日本ペインクリニック学会誌 29(program): 82. 2022. 日本ペインクリニック学会第 56 回学術集会（東京、2022/07）

服部貴文、大賀智史、下和弘、松原貴子. 肩峰下疼痛症候群の運動誘発性疼痛と疼痛感作の関係性. Journal of Musculoskeletal Pain Research 14(4): S66. 2022. 第 15 回日本運動器疼痛学会（栃木、2021/11/20）

服部貴文、大賀智史、下和弘、松原貴子. 慢性関節痛で生じる末梢・中枢感作は荷重関節と非荷重関節で異なるのか？. Pain Research 37(4): 249. 2022. 第 44 回日本疼痛学会（岐阜、2022/12/02）

福原康太、小嶋功. 炭素繊維素材短下肢装具（ENAPLE AFO）の歩行分析（予備的実験について）. 神戸学院大学総合リハビリテーション研究 2022：18(1). 第 17 回神戸学院大学総合リハビリテーション学会学術集会（神戸市、2022/12/03）

前田創、上銘峻太、高本友希、高瀬泉、服部貴文、大賀智史、下和弘、松原貴子. 自閉症スペクトラム障害を有する多発外傷後疼痛患者に対し行動観察に基づく患者教育と段階的運動療法により疼痛関連症状の改善を認めた一症例. PAIN REHABILITATION 12(2): 117. 2022. 第 26 回日本ペインリハビリテーション学会学術大会（神戸市、2022/06/11）

松尾知洋、森本陽介、上野勝弘、宮本康祐、小澤修一. 高度肺機能障害が残存するも回復期リハビリテーションにより酸素需要なしで自宅退院が可能となった COVID-19 症例. 第 49 回日本集中治療医学会学術集会.（WEB 開催、2022/03/18-20）.

松尾知洋、森本陽介、入羽恭平、前畑美幸、阪本佳奈恵、大坪拓朗、梅林実咲、赤松泉実、佐々木真希、剣物英子、上野勝弘、小澤修一. 回復期における心臓リハビリテーションの有効性に関する検討. 第 6 回日本循環器理学療法学会学術集会. 東京保健医療専門職大学（東京都、2022/09/03-04）.

山口修平、下和弘、大賀智史、松原貴子. 高齢骨折術後患者の術後痛に影響する運動イメージ・タイプ. 日本ペインクリニック学会誌 29(6): 136-137. 2022. 日本ペインクリニック学会第 2 回東海・北陸支部学術集会（Web 開催、2022/02/26）

山口修平、大賀智史、下和弘、松原貴子. 大腿骨近位部骨折術後痛の遷延化因子の検証－運動イメージ能力を含めた解析－. PAIN REHABILITATION 12(2): 114. 2022. 第 26 回日本ペインリハビリテーション学会学術大会（神戸市、2022/06/11）

山口修平、大賀智史、下和弘、松原貴子. 高齢者の運動誘発性鎮痛に関する予備的検証. Journal of Musculoskeletal Pain Research 14(4): S56. 2022. 第15回日本運動器疼痛学会(栃木、2021/11/19)

山口修平、大賀智史、下和弘、松原貴子. 高齢の亜急性期運動器疾患患者における運動誘発性鎮痛の予備的検証. Pain Research 37(4): 254. 2022. 第44回日本疼痛学会(岐阜、2022/12/02)

山田良、下和弘、大賀智史、服部貴文、松原貴子. 脳卒中後失語症患者の疼痛行動特性－疼痛行動の観察による非言語的評価－. 日本ペインクリニック学会誌 29(6): 136. 2022. 日本ペインクリニック学会第2回東海・北陸支部学術集会(Web開催、2022/02/26)

山田良、桂祐一、大賀智史、下和弘、松原貴子. 回復期病棟における高齢運動器疾患患者に対する患者教育の試み－より簡便な患者教育プログラムの開発を目指して－. PAIN REHABILITATION 12(2): 138. 2022. 第26回日本ペインリハビリテーション学会学術大会(神戸市、2022/06/11)

山田良、桂祐一、大賀智史、下和弘、松原貴子. 脳卒中後失語症患者の疼痛行動特性－疼痛行動観察評価による検討－. PAIN REHABILITATION 12(2): 115. 2022. 第26回日本ペインリハビリテーション学会学術大会(神戸市、2022/06/12)

山田良、桂祐一、松原貴子. パーキンソン病を併発する脳卒中後失語症患者に対して疼痛行動観察評価に基づいた理学療法が奏功した一症例. ポスター40 P-288. 第20回日本神経理学療法学会学術大会(大阪、2022/10/16)

山田良、桂祐一、丹羽祐斗、服部貴文、大賀智史、下和弘、松原貴子. 脳卒中後失語症患者における失語症の重症度が疼痛行動観察評価に与える影響. Pain Research 37(4): 275. 2022. 第44回日本疼痛学会(岐阜、2022/12/03)

山本将揮、大賀智史、下和弘、松原貴子: 人工膝関節全置換術後症例に対する運動恐怖および全体知覚異常に着目した運動療法と患者教育の試み. Journal of Musculoskeletal Pain Research 14(4): S56. 2022. 第15回日本運動器疼痛学会(栃木、2021/11/19)

## 【講演】

岩井信彦. 講演「組織マネジメントと専門職倫理」第6回日本理学療法哲学・倫理学会フォーラム(Web、2022/07/02)

岩井信彦. 講義：リハビリテーション概論. 神戸市シルバーカレッジ(神戸しあわせの村、2022/09/05)

岩井信彦. 講義1：理学療法士・作業療法士養成施設における臨床実習制度の理念と概要. 講義2：教育原論・

人間関係論. 2022 年度神戸学院大学臨床実習指導者講習会（神戸学院大学、2022/06/25）

岩井信彦. 講義 1；理学療法士・作業療法士養成施設における臨床実習制度の理念と概要. 2022 年度兵庫医科大学臨床実習指導者講習会（兵庫医科大学、2022/07/16）

岩井信彦. 講義 1；理学療法士・作業療法士養成施設における臨床実習制度の理念と概要. 講義 2；教育原論・人間関係論. 2022 年度兵庫県理学療法士会臨床実習指導者講習会（WEB、2022/12/03）

大久保吏司. 理学療法学科科目「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」におけるデータ解析の事例紹介. データサイエンス教育 FD セミナー. 神戸学院大学全学教育推進機構主催（WEB 開催、2022/10/27）

大久保吏司. スポーツ理学療法分野における活動について. 神戸学院大学 理学療法学科 臨床実習指導者会議 教員活動報告 2（2022/10/29）

下和弘. 運動の効果メカニズムの探索. 第 26 回日本ペインリハビリテーション学会学術大会 シンポジウム 4（ハイブリッド開催、神戸市、2022/06/12）

下和弘. 痛みに負けないカラダ作り！＜第 1 回＞. 神戸学院大学健康づくりサポートプログラム（現地開催、神戸市、2022/11/05）

下和弘. 現場の悩み事を痛みや在宅医療の専門家と一緒に話し合う. 慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業－近畿地区－ 第 1 回地域医療介護連携セミナー（ハイブリッド開催、大阪市、2022/11/26）

備酒伸彦. 地域リハビリテーションマネジメント応用演習（滋賀県、2022/02/27）

備酒伸彦. 第 123 回理学療法科学学会学術大会. 国際医療福祉大学（千葉県、2022/02/27）

備酒伸彦. 令和 4 年度地域リハ人材育成研修会（滋賀県、2022/07/24）

備酒伸彦. 第 32 回在宅医療懇談会. 西宮健康開発センター（兵庫県、西宮医師会、2022/10/13）

備酒伸彦. 令和 4 年石川県高齢者施設中堅職員研修（石川県、2022/11/08）

備酒伸彦. 令和 4 年度 岡本基金海外研修・研究事業 海外福祉オンラインセミナー（兵庫県、兵庫県社会福祉協議会、2022/01/31）

松尾知洋、森本陽介、入羽恭平、牛尾華子、梅林実咲、上野勝弘、宮本康佑、小澤修一. 回復期リハビリテーションにおける COVID-19 患者の実態調査. 第 61 回近畿理学療法学術大会 in 兵庫＜COVID-19 緊急シンポ

ジウム> (WEB 開催、2022/01/16)

松原貴子. 歯科・口腔外科領域における慢性疼痛に対する運動療法の意義. 令和3年度厚生労働省 慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業-近畿地区-第2回歯科セミナー「歯科・口腔外科領域における痛みのとらえ方と集学的診療の必要性」(Web 開催、2022/02/06)

松原貴子. 慢性疼痛リハビリテーションのコツ. 第51回日本慢性疼痛学会 シンポジウム1「慢性疼痛患者と向き合うコツ~多職種からの提案」(Web 開催、2022/02/25)

松原貴子. ICU 治療後疼痛を見据えたりハビリテーション. 第49回日本集中治療学会学術集会 国内招請講演5 (Web 開催、2022/03/18)

松原貴子. 集中治療における痛みの可塑性と理学療法. 第49回日本集中治療学会学術集会 シンポジウム39「神経集中治療における神経可塑性~長期予後への影響と対策~」(Web 開催、2022/03/20)

松原貴子. 慢性疼痛の病態メカニズムとリハ戦略. 令和4年度三重県理学療法士会研修会 (Web 開催、2022/05/28)

松原貴子. 慢性疼痛に対する運動療法と患者教育の実際. 日本ペインクリニック学会第55回学術集会 教育講演11 (現地開催、東京、2022/07/09)

松原貴子. リハビリテーション. 慢性疼痛診療ガイドライン研修会 (現地開催、岡山市、2022/09/18)

松原貴子. Long COVID と運動器疼痛のリハビリテーション-アフターコロナの対応策を考える-. 第2回岐阜ペインリハビリテーション懇話会 (現地開催、岐阜市、2022/10/06)

松原貴子. 緩和ケアにおける運動療法のポテンシャル. 第32回山形県緩和医療研究会. (Web 開催、2022/10/08)

松原貴子. 神経理学療法に活かす疼痛の知識. 第20回日本神経理学療法学会学術大会 ランチョンセミナー (現地開催、大阪市、2022/10/16)

松原貴子. リハビリテーション. 慢性疼痛診療ガイドライン研修会 (現地開催、山口県、2022/10/23)

松原貴子. リハビリテーション. 慢性疼痛診療ガイドライン研修会 (現地開催、高知市、2022/11/27)

松原貴子. 痛みと喫煙に対する運動療法の可能性. 第44回日本疼痛学会 シンポジウム2 痛みとタバコ; ステートメントを超えて (現地開催、岐阜市、2022/12/02)

松原貴子. COVID-19 後の慢性疼痛に対する運動療法の可能性—COVID-19 罹患後症状と不活動による慢性疼痛対策としての運動. 第 44 回日本疼痛学会 シンポジウム 5 ; COVID-19 と慢性疼痛—そのメカニズムと治療の有用性・可能性 (現地開催、岐阜市、2022/12/03)

松原貴子. 運動療法の限界と今後の課題—他治療との併用の意義・効果を含めて. 第 44 回日本疼痛学会 シンポジウム 7 ; 運動療法による慢性疼痛対策はどこまで可能か (現地開催、岐阜市、2022/12/03)

松原貴子. リハビリテーション. 慢性疼痛診療ガイドライン研修会 (現地開催、富山市、2022/12/11)

森本陽介. 敗血症・筋代謝・ICU-AW の治療・リハビリ. 日本離床学会教育セミナー (WEB 開催、2022/06/28)

## 【その他】

# 作業療法学科

## 【著書】

大庭潤平、身体障害領域での就労支援 - 整形疾患 (切断) : 就労支援の作業療法 - 基礎から臨床実践まで (中村俊彦・建木健・藤田さより編). 医歯薬出版株式会社. 東京. 2022, 86-94.

小川真寛、白井はる奈、坂本千晶、西田征治 : A-QOA(活動の質評価法)ビギナーズガイド 認知症のある人の生活を豊かにする 21 の観察視点と 20 の支援ポイントクリエイティブかもがわ. 京都. 2022.

藤本一博、小川真寛、京極真 (編著) : 5 つの臨床推論で整理して学ぶ 作業療法リーズニングの教科書. メジカルビュー社. 東京. 2022.

## 【論文】

Farea M, Maeta K, Nishio H, Matsuo M. Human Dystrophin Dp71ab Enhances the Proliferation of Myoblasts Across Species But Not Human Nonmyoblast Cells. *Front Cell Dev Biol.* 2022 Apr 25; 10: 877612. doi: 10.3389/fcell.2022.877612. PMID: 35547811; PMCID: PMC9081641.

Jumpei Oba, Sumiko Yamamoto, Kengo Ohnishi, Isamu Kajitani, Yaeko Shibata, Koki Asai. Effects of Single-handed and Dual-handed Tasks on Myoelectric Hand Prosthesis Operability of Unilateral Transradial Amputees. *Asian Journal of Occupational Therapy.* 2022; 18(1): 39-46.

Kojima S, Kikuchi T, Kakei Y, Kowa H, Yamamoto Y, Kajita H, Osaki T, Fukushima M, Kayano R, and Nagai Y. Implication of using cognitive function-related simple questions to stratify the risk of long-term care need: population-based prospective study in Kobe, Japan. *Health Research Policy and Systems.* 2022; 20. doi: 10.1186/s12961-022-00920-4

Kumagai R, Osaki T, Oki Y, Murata S, Uchida K, Encho H, Ono R, Kowa H. The Japan-Multimodal Intervention Trial for Prevention of Dementia PRIME Tamba (J-MINT PRIME Tamba): Study protocol of a randomised controlled multi-domain intervention trial. *Archives of Gerontology and Geriatrics.* doi: 10.1016/j.archger.2022.104803.

Maeta K, Farea M, Nishio H, Matsuo M. An Antisense Oligonucleotide against a Splicing Enhancer Sequence within Exon 1 of the MSTN Gene Inhibits Pre-mRNA Maturation to Act as a Novel Myostatin Inhibitor. *Int J Mol Sci.* 2022 Apr 30; 23(9): 5016. doi: 10.3390/ijms23095016. PMID: 35563408; PMCID: PMC9101285.

Niba ETE, Nishio H, Wijaya YOS, Ar Rochmah M, Takarada T, Takeuchi A, Kimizu T, Okamoto K, Saito T, Awano H, Takeshima Y, Shinohara M. Stability and Oligomerization of Mutated SMN Protein Determine Clinical Severity of Spinal Muscular Atrophy. *Genes (Basel)*. 2022 Jan 24; 13(2): 205. doi: 10.3390/genes13020205. PMID: 35205250; PMCID: PMC8872419.

Noguchi Y, Bo R, Nishio H, Matsumoto H, Matsui K, Yano Y, Sugawara M, Ueda G, Wijaya YOS, Niba ETE, Shinohara M, Bouike Y, Takeuchi A, Okamoto K, Saito T, Shimomura H, Lee T, Takeshima Y, Iijima K, Nozu K, Awano H. PCR-Based Screening of Spinal Muscular Atrophy for Newborn Infants in Hyogo Prefecture, Japan. *Genes (Basel)*. 2022 Nov 14; 13(11): 2110. doi: 10.3390/genes13112110. PMID: 36421785; PMCID: PMC9690968.

Okamoto K, Nishio H, Motoki T, Jogamoto T, Aibara K, Kondo Y, Kawamura K, Konishi Y, Tokorodani C, Nishiuchi R, Eguchi M. Changes in the Incidence of Infantile Spinal Muscular Atrophy in Shikoku, Japan between 2011 and 2020. *Int J Neonatal Screen*. 2022 Sep 26; 8(4): 52. doi: 10.3390/ijns8040052. PMID: 36278622; PMCID: PMC9590054.

Shinohara Y, Morino T, Shimoura K, Niu Q, Mukaiyama K, Chen C, Matsumura N, Shimizu H, Tabata A, Hanai A, Nagai-Tanima M, Ogawa M, Kato T, Tanimukai H, Matsuoka M, Adachi S, Takita J, Tsuboyama T, Aoyama T. Comparison of psychological quality of life between long-term survivors of childhood cancer and their families. *J Adolesc Young Adult Oncol* 2022 doi: 10.1089/jayao.2021.0217.

Shirakawa T, Ikushima A, Maruyama N, Nambu Y, Awano H, Osawa K, Nirasawa K, Negishi Y, Nishio H, Fukushima S, Matsuo M. A sandwich ELISA kit reveals marked elevation of titin N-terminal fragment levels in the urine of mdx mice. *Animal Model Exp Med*. 2022 Feb; 5(1): 48-55. doi: 10.1002/ame2.12204. Epub 2022 Feb 3. PMID: 35229992; PMCID: PMC8879618.

Wijaya YOS, Niba ETE, Nishio H, Okamoto K, Awano H, Saito T, Takeshima Y, Shinohara M. High Concentration or Combined Treatment of Antisense Oligonucleotides for Spinal Muscular Atrophy Perturbed SMN2 Splicing in Patient Fibroblasts. *Genes (Basel)*. 2022 Apr 13; 13(4): 685. doi: 10.3390/genes13040685. PMID: 35456491; PMCID: PMC9027857.

Yamadera M, Saito T, Shinohara M, Nishio H, Murayama S, Fujimura H. Spinal muscular atrophy type 2 patient who survived 61 years: an autopsy case report. *Neuropathology*. 2022 Apr; 42(2): 141-146. doi: 10.1111/neup.12784. Epub 2022 Feb 10. PMID: 35144320.

Osaki T, Yamamoto Y, Kowa H, Kojima S, Maeda K, Kajita H, Kakei Y, and Nagai Y. Preliminary evaluation of the Japanese version of the Cognitive Function Instrument in a memory clinic. *Journal of Society for Dementia Prevention (日本認知症予防学会誌)*. 2022; 11(2)

浅井康紀、下村良充、岩田健太郎、藤原瑞穂、大庭潤平。造血幹細胞移植患者における生活行為の経時的変化。作業療法。2022；41(4)：436-443。

栗野宏之、南部静紀、篠原正和、岡本健太郎、齊藤利雄、竹島泰弘、西尾久英。アデノ随伴ウイルスベクター製剤による脊髄性筋萎縮症の新規治療法。日本小児科学会雑誌。2022；126(3)：481-493。

井上剛伸、大庭潤平、柴田晃希、柴田八衣子、石渡利奈、阿久根徹、藤原清香、酒井勇雅。国際生活機能分類(ICF)に基づく義肢装具のとらえ方—ICFの概要と臨床実践。日本義肢装具学会誌。2022；38(2)：132-137。

大庭潤平。義手の基本知識。Journal of clinical rehabilitation。2022；31(7)：622-631。

大庭潤平。24時間コンセプト総論。作業療法ジャーナル。2022；56(9)：934-938。

崎本史生、若田恭介、浦田康平、大庭潤平。生活行為向上マネジメントを活用した呼吸器疾患患者の1例。作業療法ジャーナル。2022；56(2)：1291-1295。

田代大祐、富田創、田嶋晃英、花井沙樹、小川真寛。COVID-19感染拡大が作業療法士の新人教育へ与えた影響。作業療法教育研究。2022；21(2)：26-33。

田代大祐、中原雅美、中川昭夫。上肢支持手すりを用いた排泄シミュレーション姿勢の検証—姿勢構造に伴う呼吸運動様式の変化—。作業療法。2022；41(4)：410-417。

田代大祐、中原雅美、中川昭夫。便器の形状が姿勢制御と胸郭運動に及ぼす影響。日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌。2022；30(2)：228-232。

田代大祐、小川真寛、塚原正志、大庭潤平。明石市の介護予防・日常生活支援総合事業におけるリハビリテーション専門職としての関わり。神戸学院総合リハビリテーション研究。2022；17(2)：13-18。

南部静紀、栗野宏之、坊亮輔、洪聖媛、西尾久英、飯島一誠。日齢50にonasemnogene abeparvovecを投与した脊髄性筋萎縮症1型の1例。脳と発達。2022；54(4)：262-265。

西田征治、小川真寛。活動の質評価法(A-QOA)を用いた認知症の人のQOL。Monthly Book Medical Rehabilitation。2022；273：19-24。

見須裕香、加藤雅子、種村留美、岡村 仁、山本大誠。Occupational Gap Questionnaire(作業ギャップ質問票)日本語版の作成と言語的妥当性の検討。作業療法。2022；41(3)：380-384。

**【学会発表】**

Daisuke Tashiro, Masami Nakahara, Akio Nakagawa. Effect of arm support on defecation posture and respiratory movement. WFOT Congress 2022. 2022.8.28.

Haruna Shirai, Masahiro Ogawa, Seiji Nishida, Chiaki Sakamoto, Tomohiko Yoneyama. Exploring the practice guidelines that promote quality of activities in persons with dementia: A qualitative study. WFOT Congress 2022 Paris, 2022.8.28-31.

Tomohiko Yoneyama, Masahiro Ogawa, Haruna Shirai, Seiji Nishida, Chiaki Sakamoto. Differences in response during activities in patients with dementia -Analysis of comparison among three groups classified by severity-. WFOT Congress 2022 Paris, 2022.8.28-31.

稲葉乃愛、浅田将希、大庭潤平. 筋電義手操作における視覚性フィードバック機能の特徴－ウェアラブルアイトラッカーを用いた分析. 第38回日本義肢装具学会学術大会（新潟、2022/10/8-9）

浅井康紀、下村良充、岩田健太郎、藤原瑞穂、大庭潤平. 同種造血幹細胞移植患者における生活行為の経時的変化. 第56回日本作業療法学会（京都、2022/09/16-18）

大庭潤平、妹尾勝利、柴田八衣子. 作業療法士養成校における義手教育の現状と課題－アンケート調査から－. 第56回日本作業療法学会（京都、2022/09/16-18）

小川真寛、田代大祐、大庭潤平. COVID-19 感染拡大は地域で生活している高齢者の生活機能にどのような影響を与えたか？－明石市における COVID-19 感染拡大前後の基本チェックリストの比較からの分析－. 第56回日本作業療法学会（京都市、2022/09/16-18）

菊地理仁、大庭潤平、安藤悠、浅井康紀、浦田康平. 回復期リハビリテーション病棟に入院する脳血管障害者に対する就労支援の実態－作業療法士の評価・支援内容－. 第56回日本作業療法学会（京都、2022/09/16-18）

崎本史生、菊地理仁、田中康介、池畑清美、大庭潤平. 回復期リハビリテーション病棟作業療法部門における課題分析－Quality Evaluation Strategy Tool (QUEST) を用いた実践－. 第56回日本作業療法学会（京都、2022/09/16-18）

柴田八衣子、大庭潤平、妹尾勝利. 義手の適合判定の現状と課題－能動義手の適合判定の見直しに向けて－. 第56回日本作業療法学会（京都、2022/09/16-18）

白井はる奈、小川真寛、西田征治、坂本千晶. 認知症のある人の活動の質（Quality of Activities：QOA）を

高めるプラクティスガイドの開発. 第56回日本作業療法学会(京都市、2022/09/16-18)

妹尾勝利、大庭潤平、柴田八衣子. 作業療法士養成校における義手教育の現状と課題ーテキストマイニングによるニーズ分析ー. 第56回日本作業療法学会(京都、2022/09/16-18)

田代大祐、大下紘弥、松本孝太、中塚壮佑、富田創、小川 真寛. COPD 患者における認知機能障害が作業(Occupation)へ与える影響: スコーピングレビュー. 第32回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会(2022/11/12)

田代大祐、小川真寛、大庭潤平. Grit(やり抜く力)を用いた地域在住高齢者の心理特性分析ーウイズコロナを乗り越える生活機能改善策の検討ー. 第56回日本作業療法学会(京都市、2022/09/16-18)

西田征治、坂本千晶、池内克馬、白井はる奈、小川真寛. 認知症のある人の日常活動と尊厳を高める家族教室の効果(第2報). 第56回日本作業療法学会(京都市、2022/09/16-18)

林敦子、古和久朋、立花久嗣、阪井一雄、山本泰司、曾良一郎. 軽度認知障害・軽度アルツハイマー型認知症における記憶モニタリングと精神的健康度との関連. 第46回日本高次脳機能障害学会学術集会. やまぎん県民ホール(山形県山形市、2022/12/02)

前田和宏、Farea Manal、西尾久英、松尾雅文. ヒト MSTN 遺伝子で初めてクローニングしたスプライシングバリエントは3'UTR内の非典型スプライスサイトを活性化していた. 日本人類遺伝学会第67回大会. パシフィコ横浜(2022/12/14-17)

松山賢一、森美佳、元木郁代、荒賀哲也、石丸綾子、杉田大輔、渡邊史恵、岡田滋裕、山下麻希、吉田昇生、竹村幸洋、阪井一雄、宮軒將. 認知症入院患者の身体疾患リスクについての考察. 第11回日本認知症予防学会学術集会 一般演題(口演)「認知症と生活障害」. 福岡国際会議場(福岡県福岡市、2022/09/23)

米山智彦、長島靖子、星野ひかる、古川夏美、小川真寛. 認知症重症度の違いによる意味のある活動時に着目すべき観察視点の探索. 第56回日本作業療法学会(京都市、2022/09/16-18)

## 【講演】

大庭潤平. 日本と世界の作業療法の動向. 日本作業療法士協会現職者選択研修会(web、2022/08/07)

大庭潤平. 日本作業療法士協会の取り組みについて. 日本作業療法士協会認定作業療法士取得研修: 管理運営(wen、2022/10/22-23)

大庭潤平. 活動と参加へ真摯に向き合う作業療法～対象者の想いに寄り添い続けるための視点～. 日本作業療法士協会重点研修会 (web、2022/11/20)

尾寄遠見. Preliminary evaluation of the Japanese version of the Cognitive Function Instrument in a memory clinic. 第11回日本認知症予防学会学術集会 優秀論文賞受賞講演 (福岡 & web、2022/09/23)

小川真寛. 認知症のある人の作業療法 プール活動レベル (PAL) の紹介. 尼崎だいもつ病院 研修会 (Web、2022/02/18)

小川真寛. A-QOA の紹介. ねりま健育会病院 勉強会 (Web、2022/06/07)

小川真寛. A-QOA の概要説明 A-QOA 入門セミナー (Web、2022/06/24)

小川真寛. 成人・高齢者におけるがんに伴う認知機能障害. 第27回日本緩和医療学会学術大会講演 (神戸市、2022/07/01)

小川真寛. リーズニングの種類について. Reasoning セミナー (Web、2022/09/03)

小川真寛. 活動の質評価法 (A-QOA). 翠町圏域介護サービス事業所研修会 (Web、2022/11/21)

小川真寛、田代大祐. 「ウイズコロナを乗り越えるために、住民に知って欲しいこと」新型コロナウイルス感染症拡大が高齢者の生活機能に与える影響について 明石市で行った調査結果の概要報告と専門職への提案. 明石市一般介護予防事業に関する研修会 (Web、2022/03/08)

清水政克、南哲、田代大祐、橋本力. パネルディスカッション, 地域に医療と福祉を支える専門職養成のあり方を問う. 総合リハビリテーション学会学術集会 (2022/12/03)

田代大祐. 簡便な呼吸機能推定機器の研究開発 ～学術的価値と産学連携の可能性～. はりま産学交流会 創造例会 (2022/11/18)

田代大祐. 高齢者の呼吸機能を簡易的に推定する腹部隆起量測定器 ～その学術的背景と今後の展望について～. 第10回 産学連携サロン (2022/09/06)

田代大祐. 最新式呼吸機能測定器の開発. 国際フロンティアメッセ (2022/09/01)

田代大祐. フレイルってなあに? ～明日も元気な心と体を目指して～. あかねが丘学園主催オンライン講座 (2022/08/17)

田代大祐. 排痰のメカニズム. 神戸在宅呼吸ケア勉強会・ひょうご呼吸ケアネットワーク主催 呼吸ケア・リハビリテーション講座 (2022/07/19)

藤原瑞穂. 兵庫県作業療法士会 現職者共通研究 「事例報告と事例研究」(神戸市、2022/08/07)

藤原瑞穂. 第1回臨床実習指導者講習会「作業療法参加型臨床実習の理解」他(神戸市、2022/10/23)

藤原瑞穂. 第2回臨床実習指導者講習会「作業療法参加型臨床実習の理解」他(神戸市、2022/12//03-04)

藤原瑞穂. 第28回兵庫県作業療法学会 教育講演 「作業科学～「作業」を捉える視点とことば～」(神戸市、2022/12/18)

## 【その他】

稲葉乃愛、浅田将希、大庭潤平. 優秀学生演題賞. 演題 筋電義手操作における視覚性フィードバック機能の特徴－ウェアラブルアイトラッカーを用いた分析. 第38回日本義肢装具学会学術大会(新潟、2022/10/08-09)

尾寄遠見. 「多職種連携」×「地域連携」×「治療継続」. レビー小体型認知症 WEB 講演会 エリアクロストーク ディスカッション. 大日本住友製薬株式会社 (web、2022/03/16)

阪井一雄: 学会座長. 一般演題(口演) 17「認知症の多職種協働」第11回日本認知症予防学会学術集会 一般演題(口演)「認知症と生活障害」. 福岡国際会議場(福岡県福岡市、2022/09/23)

阪井一雄: 日本認知症学会 和文学会誌 Dementia JAPAN 編集委員

# 社会リハビリテーション学科

## 【著書】

大塚美和子：スクールソーシャルワーカーと教師のための校内支援実践マニュアル～子どもの問題を早期に発見・チームで解決～，神戸学院大学出版会，2022/12，単著。

川本健太郎，第4章8節エンパワメント：ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ（立花直樹、小口将典、竹下徹、九十九綾子、汲田千賀子編），ミネルヴァ書房，2022。

杉本敏夫監修、立花直樹、小口将典、竹下徹、九十九綾子、汲田千賀子編著：ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ（基礎），ミネルヴァ書房，京都，2022.22-33。

播磨信義、上脇博之、木下智史、脇田吉隆、渡辺洋編著：新・どうなっている!?日本国憲法(第3版第9刷)，法律文化社，京都，2022/09：はしがき、4-5 46-47 64-65 96-99 102-103。

## 【論文】

石王敦子、眞銅景子、三平真理、趙愛蓮、橋本勇真、蓬萊暁、須藤峻太郎、今西碧、村田哉、藤田裕一、水本正志，〈特集〉職業としての心理学 追手門学院大学心理学論集，2022：30：11-33。

関水徹平、金子充、川本健太郎，社会福祉政策における社会的投資論の批判的検討 ー 人的資本活用と権利保障のせめぎ合いに着目して，立正大学社会福祉研究所年報，2022：(24)：65-88。

佐野光彦，感染爆発と権威主義の復活ーバングラデシュを例として，国際アジア共同体学会 Global Asia Review (12)，2022：31-32。

佐野光彦，コロナ禍と福祉文化ー次への課題と挑戦ー，日本文化学会 福祉文化研究 (31)，2022：24。

佐野光彦，ウクライナ問題とメディアリテラシー，NPO 法人京都エネルギー・環境研究協会 ENEKAN，2022：20：24-27。

藤田裕一，青年期・成人期の二分脊椎症者における幸福感に関する語り 〈特集〉保健医療の行動科学再考，日本保健医療行動科学会雑誌，2022：37(1)：1-6。

脇田吉隆，法学・憲法学教育と学習権の保障 研究ノート，神戸学院総合リハビリテーション研究，2022/03：16(2)：35-43。

## 【学会発表】

Md Mehedi Hasan Khan, Syeda Marufa Akter, Most Shayda Shamsea Aziz Shabee, Mitsuhiko Sano. A Comprehensive Study on Welfare Situation of Rohingya People in Bangladesh. 第33回日本福祉文化学会全国大会京都大会（大谷大学、2022/10/23）

Most Shayda Shamsea Aziz Shabee, Syeda Marufa Akter, Md Mehedi Hasan Khan, Mitsuhiko Sano. Impact of Covid-19 on Elderly and Disabled People in Context of a Developing Country: A Review. 第33回日本福祉文化学会全国大会京都大会（大谷大学、2022/10/23）

Syeda Marufa Akter, Md Mehedi Hasan Khan, Most Shayda Shamsea Aziz Shabee, Mitsuhiko Sano. Inclusive Education for Disabled Students in Bangladesh: Assessment and Expectation. 第33回日本福祉文化学会全国大会京都大会（大谷大学、2022/10/23）

植村仁、佐野光彦、中西久雄. バングラデシュの印刷物障がい児教育と電子テキストの現状. 第33回日本福祉文化学会全国大会京都大会（大谷大学、2022/10/23）

大塚美和子. 保護者ケース会議を活かした問題予防型校内支援システムの実践モデル・マニュアル開発. 日本学校ソーシャルワーク学会第16回全国大会（北海道、オンライン開催、2022/07/16-17）

大塚美和子. 保護者ケース会議の導入がもたらす校内支援の変容～SSWと協働したコーディネーター教員へのインタビュー調査から～. 日本社会福祉学会第70回秋季大会（大阪、2022/10/15-16）

葛西敦貴、佐野光彦. オールドニュータウンの再生－明舞団地住民と神戸学院大学生との協働. 第33回日本福祉文化学会全国大会京都大会（大谷大学、2022/10/23）

糟谷佐紀、金井謙介. 重度肢体不自由者に対する賃貸住宅の借りづらさの状況. 第36回リハ工学カンファレンス from 中国・四国支部 講演論文集：51-52（Web開催、2022/08/20-21）

西垣千春. 「生活困窮がもたらす健康への影響」. 第63回日本社会医学会. 名古屋大学（Zoom発表、2022/08/27-28）

古井克憲、藤田裕一、石田恵美子、道信良子. 「障害」と「病い」をめぐる質的研究（『質的心理学研究』編集委員会企画シンポジウム）. 日本質的心理学会第19回大会. 愛知大学（名古屋市、2022/10/29-30）

協田吉隆. 再審請求事件における憲法的刑事手続(2). 兵庫県憲法会議学習会（神戸市、2022/04/19）

協田吉隆. 再審請求事件における憲法的刑事手続(3)、名張事件第10次再審請求の問題点. 憲法・政治学研究

会（京都市、2022/04/24）

協田吉隆. えん罪事件における憲法的再審手続について. 基礎経済科学研究所（和泉市、2022/09/03）

### 【講演】

大塚美和子. 「チーム学校を実現するスクールソーシャルワーク～理論に基づくソーシャルワーク実践～」. 鳥取県社会福祉士会共催鳥取県現任 SSW 研修会（オンライン講演、2022/01/27）

大塚美和子. 「チーム学校を実現するスクールソーシャルワーク～メゾ・アプローチの展開～」 オンライン講演・シンポジウムのコメンテーター. 北海道教育庁 SSW 活用事業連絡協議会（2022/02/14）

大塚美和子. 「ケース会議における SSW の活用について～具体的な事例をもとに～」. 豊能地区小中学校生活指導研究協議会（2022/06/27）

大塚美和子. 「スクールソーシャルワーカーの役割と校内マネジメントの方法」. 猪名川町 SSW・コーディネーター研修会（2022/08/01）

大塚美和子. 「いじめ問題への対応～SSW が学校と取り組む役割とは～」. 西宮市教育委員会教頭研修（2022/09/26）

糟谷佐紀. ユニバーサル社会の構築に向けて～今、高校生に考えてほしいこと～. 六甲アイランド高校 社会福祉研究（六甲アイランド高校、2022/06/14）

糟谷佐紀. 障害者にとって住まいとは. 神戸市重度心身障害児（者）父母の会（神戸市立総合福祉センター、2022/09/11）

糟谷佐紀. 病人ではなく住人として暮らしつづけるための住まい. 第 4 回天王寺区薬薬連携研修会（Web、2022/10/20）

川本健太郎. 孤独・孤立を考える講演会-地域支え合いのすすめ(三田市総合保健福祉センター、2022)

阪田憲二郎. 生活困窮者自立相談支援事業事例検討会(助言者). 芦屋市社会福祉協議会(Web 開催、2022/05/26)

阪田憲二郎. スクールカウンセリング及び職員研修. 兵庫県立のじぎく特別支援学校（神戸市、2022/07/08）

阪田憲二郎. ひきこもりなど現代の心の病について. 社会福祉法人はりまいのちの電話（電話相談員養成講

座) (姫路市、2022/08/06)

阪田憲二郎. 福祉関係者向け自殺予防研修会. 加古川市健康医療部 (加古川市、2022/11/04)

佐野光彦. 東大阪市社会福祉協議会 東大阪シニア地域活動実践塾. 福祉文化のまちづくり一人とまちのリハビリテーション(東大阪市社会福祉協議会 角田総合老人センター、2022)

佐野光彦. 東大阪市社会福祉協議会 東大阪シニア地域活動実践塾. SDGs とボランティアでまちづくり (東大阪市社会福祉協議会 角田総合老人センター、2022)

西垣千春. 「高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために」. 全国社会福祉協議会民生児童委員全国大会コーディネーター、講義 (オンライン放映、2022/02-03)

西垣千春. 「高齢者が安心して暮らし続けることができる地域づくり」. 福岡県民生児童委員大会 (大会中止により報告書にて公開、2022/02)

西垣千春. 「すべての人に健康と福祉を」. 北海道医療ソーシャルワーカー学会、特別講演 (リアルタイムオンライン、函館、2022/07)

藤田裕一. 大阪府人権協会大阪府人権総合講座「事例検討」(大阪市、2022/01/07)

藤田裕一. 2022 年度神戸いのちの電話連続公開講座「アドラー心理学とストレングス視点を活かした相談支援」(神戸市、2022/05/28)

藤田裕一. こうべ市歯科センター第 13 回障害者歯科医療研修会「生活者としての二分脊椎症者、車椅子ユーザー」(神戸市、2022/09/17)

水上然. 虐待の早期発見・早期解決に向けて～管理者・リーダーに求められること～令和 4 年度明石市マネジメント研修 (明石市福祉局施設整備・人材育成室、2022)

宮崎清恵. 「家族支援の理論と実際」. (公社) 日本社会福祉士会・(公社) 日本医療ソーシャルワーカー協会 第 17 期保健医療におけるソーシャルワークにおける専門研修 (医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅲ) スクーリング (WEB 開催、2022/02/23)

宮崎清恵. 「認定社会福祉士制度におけるスーパービジョン」. 認定社会福祉士認証・認定機構 スーパービジョン説明会 (WEB 開催、2022/02/20、2022/07/17)

宮崎清恵. 「面接技法」. 2022 年度 (一社) 兵庫県精神保健福祉士協会新人研修 (神戸市、2022/12/16)

宮崎清恵. 「実践力・実践モデル概論Ⅰ」・「実践力・実践モデル概論Ⅱ」・「実践力・実践モデル概論Ⅲ」・「実践力・実践モデル概論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ補充講義」. (公社)日本医療ソーシャルワーカー協会 2022 年度ソーシャルワークスキルアップ研修－周産期・小児ソーシャルワーク研修 (WEB 開催、2022/12/17-18)

脇田吉隆. 憲法・法学教育方法論について (その 23) 法学教育を考える会 (高槻市、2022/07/17)

脇田吉隆. 憲法第 9 条平和主義の学び方 (その 9) 磐手九条の会学習会 (高槻市、2022/08/21)

脇田吉隆. えん罪事件解決のための市民的運動について. 日本国民救援会兵庫県本部「救援広場」(神戸市、2022/08/28)

脇田吉隆. 憲法・法学教育方法論について (その 24) 法学教育を考える会. (高槻市、2022/10/23)

脇田吉隆. 名張毒ぶどう酒事件 獄死した奥西勝さんの名誉回復のために (6). 名張毒ぶどう酒事件兵庫支援する会 (神戸市、2022/12/11)

## 【その他】

大塚美和子. スクールソーシャルワークと「チーム学校」 DVD 製作著作. 製作技術 インディーネットワーク. 2022/12. JSPS 科研費 基盤研究 (C) 課題番号 19K02745 「教職員と保護者の力を活かした問題予防型校内支援システムの実践モデル開発」 研究代表 大塚美和子

阪田憲二郎. 第 64 回日本病院・地域精神医学会 (岡山大会) 分科会座長. 日本病院・地域精神医学会. 岡山県岡山市 (Web 開催、2022/02/20)

阪田憲二郎. 第 10 回日本精神保健福祉学会全国学術集会(札幌大会) 分科会座長. 一般社団法人日本精神保健福祉学会. 北星学園大学 (北海道札幌市) (Web 開催、2022/06/26)

西垣千春. 大阪しあわせネットワーク CSW・スマイルサポーター事例報告会 コーディネーターおよび講義「事例を通して地域連携を考える」. 大阪府社会福祉協議会 (オンライン実施、2022/01)

西垣千春. 大阪府 生活資金貸付事業の実態調査分析.

西垣千春. 「神戸学院大学 学生の未来センターが担う役割」(2021 年度研究集会基調講演録) 大学行政管理学会誌. 2022 ; 26 : 3-12.

西垣千春 (学生の未来センター). 神戸新聞 「不適應で退学 10 年前の倍」コメント掲載. 2022/0502 朝刊.

西垣千春. 日本経済新聞 「物価対策、議論深めて 参院選 2022」コメント掲載. 2022/06/23 朝刊 43 面.

西垣千春. 朝日新聞「大学復学へ個々に寄り添って」コメント掲載. 2022/09/09 朝刊 17 面.

西垣千春. サンテレビ ニュース番組のコメント. 2022/07/21 17 時からのニュース.

宮崎清恵他. (公社)日本社会福祉士会『地域共生社会で活躍できる社会福祉士の育成・強化に関する調査研究事業報告書』. 厚生労働省 令和 3 年度 生活困窮者就労準備支援事業費等補助金 社会福祉推進事業. 2022/03 : 251 - 267.

宮崎清恵他. (一社)日本保健医療社会福祉学会第 31 回大会シンポジウム「コロナ禍の地域とソーシャルワークを問うー変わること、変わらないこと、変えてはならないこと」全体討議. 保健医療社会福祉研究第 30 巻. 2022/03 : 39-43.

宮崎清恵他. 企画・講師. 2022 年度スーパーバイザー登録推進研修. (公社)日本医療ソーシャルワーカー協会 (WEB 開催、2022/03/06、2022/07/24)

脇田吉隆ほか 5 名. 高校サッカー落雷事故 北村光寿さんの社会復帰の事例 続編その 1. 神戸学院総合リハビリテーション研究. 2022 : 16(2) : 19-23.

脇田吉隆. 再審請求事件における憲法的刑事手続. 憲法新聞兵庫県版第 576 号 (2022/05)

脇田吉隆. 高校サッカー落雷事故 北村光寿さんの社会復帰の事例、その後. 第 17 回総合リハビリテーション学会学術集会. 神戸学院大学 (神戸市、2022/12/03)

## 神戸市寄付講座

### 認知症の人にやさしいまちづくり研究プロジェクト

#### 【論文】

Hiroyuki Kajita, Kiyoshi Maeda, Tohmi Osaki et al. The Effect of a Multimodal Dementia Prevention Program Involving Community-Dwelling Elderly. Psychogeriatrics. 2022; 22: 113–121.

朴白順、大上哲也、檉林哲雄、古和久朋、徳田真、小野玲、中野高広、山上徹也、前田潔、認知機能簡易測定ツール「脳活バランサーCogEvo」の有効性についての予備的検討：地域在住高齢者および医療機関受診者を対象として. Dementia Japan. 2022；36：322-335.

梶田博之、福井則子、前田潔、大学の作業療法士養成課程における認知症教育の効果－認知症リテラシーの向上を目指して－. 仁明会精神医学研究. 2022；19：28-32.

#### 【講演】

前田潔、三屋清左衛門残日録にみる退職後の生き方. しあわせの村まつり春まつり. しあわせの村神戸市シルバーカレッジ（神戸市、2022/04/23）

前田潔、「総合福祉ゾーン、しあわせの村における高齢者福祉」－認知症予防の可能性－. 令和4年度第1回しあわせの村会議. 神戸市しあわせの村研修館ホール（神戸市、2022/07/29）

前田潔、シニア世代の生き方 ～つながりと社会参加～ 三屋清左衛門残日録にみる退職後の心得. 神戸市シルバーカレッジ講義 神戸市シルバーカレッジ（神戸市、2022/09/07）

前田潔、認知症にならないために. ひまわりカフェ認知症学習会. 明舞センタービル（明石市、2022/09/14、2022/10/12）

前田潔、認知症サポーターに伝えたいこと ～認知症を理解する～. 令和4年度神戸市キャラバンメイト養成研修会. こうべ市民福祉交流センター（神戸市、2022/09/21）

前田潔、[神戸市看護大学講義] 心の病気、統合失調症、老年期精神障害、精神科薬物療法. 神戸市看護大学（神戸市、2022/11/15、2022/12/20、2023/01/10）

前田潔、若年性認知症の疾患の特徴について ～若年性認知症の方を診察している医師からの視点～. 神戸

市若年性認知症ダイサービス・デイケア職員研修(オンライン研修). こうべ市民福祉交流センター(神戸市、2022/11/25)

前田潔. 診療における実践. 令和4年度かかりつけ医認知症対応力向上研修会. 神戸市医師会館(神戸市、2022/12/03)

## 【その他】

前田潔. 特集認知症への理解と対応、認知症を理解する、早期診断と診断後を支援、神戸モデル(取材). へるすあっぷ 21 No. 449、2022/03/01 発行.

前田潔、梶田博之、福井則子. 認知症リテラシー講座(ブースター講座)開催. 2022/07/06、2022/07/09、2022/07/13、2022/07/16.

前田潔、梶田博之、福井則子. [小冊子] ○×で学ぶ認知症リテラシー教育 認知症を正しく理解し行動しよう 前田潔監修. 2022/12/15 発行.

前田潔、梶田博之、福井則子. [リーフレット] 明舞地区 認知症のひとにやさしいまちづくりに向けた調査(終了)報告書 神戸学院大学総合リハビリテーション学部認知症の人にやさしいまちづくり研究講座 2022年度研究. 2022/12/15 発行.